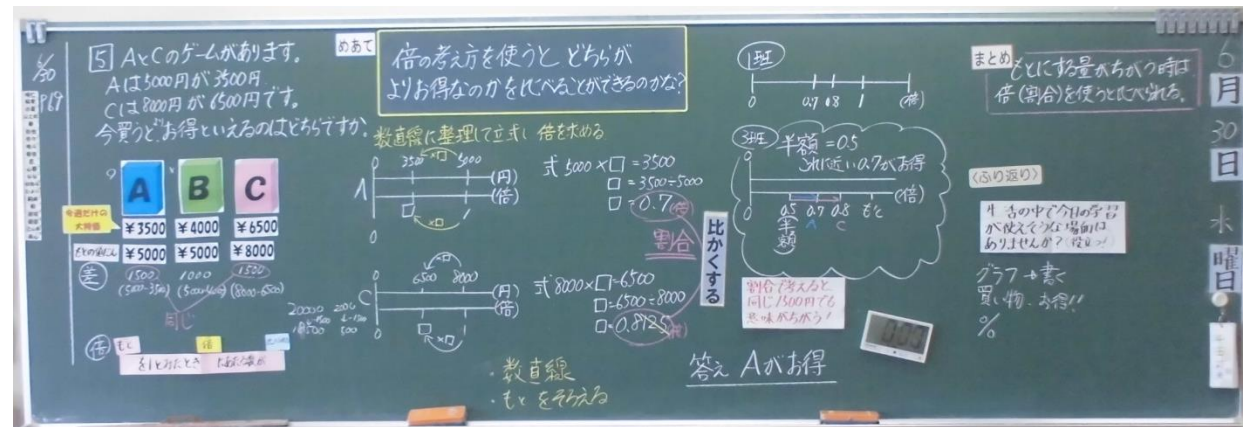
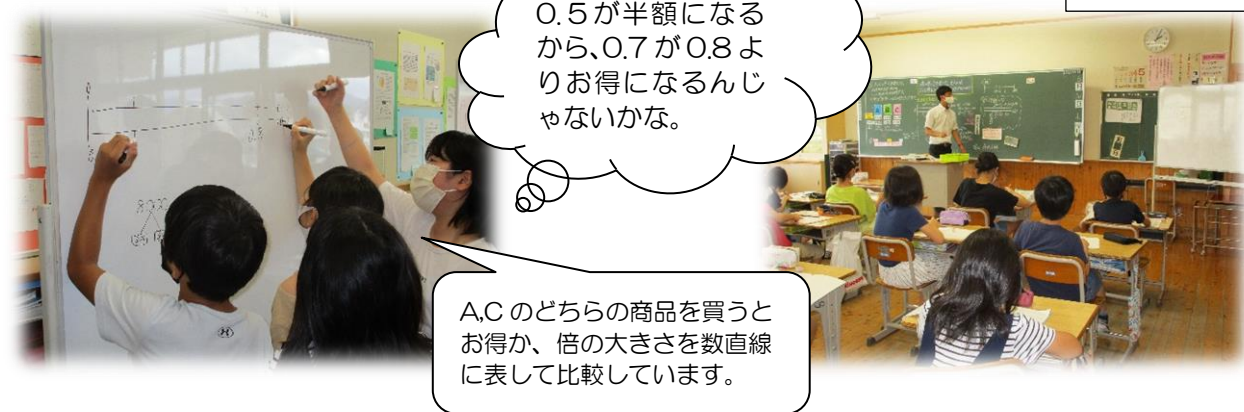


今年度から研究の教科として、算数科も入りました。算数科での研究授業を最初に今津先生に行っていました。学習過程をどう作っていくのか、どんな数学的な活動を通して付けたい力に向かうのかなど学んでいかなければならないことがたくさんあります。研究授業を通して、日々の実践につなげていけるように、これから考えていきましょう。授業と事後研究の様子をお知らせします。本時は、5/5時間目です。

**単元名 「小数の倍」 全5時間 5年1組 今津 好智 教諭**  
身に付けたい力：○基準量や比較量が小数の場合の倍の意味や簡単な割合による比較について理解し、倍の意味を図や式を用いて考える力  
○整数と小数の倍の意味を統合的に捉えたり、これまでの倍の学習を生活や学習に活用しようとしたりする力



本時の板書5/5



0.5が半額になるから、0.7が0.8よりお得になるんじゃないかな。

A,Cのどちらの商品を買うとお得か、倍の大きさを数直線に表して比較しています。

**授業者のリフレクションシートより**  
**主・対** どちらの割合がより値引きされたのか、グループで議論させることで多様な考えを引き出すことをねらった。  
**課題** 日常生活で遭遇するであろう買い物場面を設定することで、日常生活で使ってみようとする意欲の向上をねらった。  
**見・考** 数直線に立式する「〇を1とみたとき…」といった既習事項を着目させることで見方・考え方が働くことをねらった。

### 1 本単元で身に付けさせたい資質・能力を育成するための主体的・対話的な学習の設定

- 数直線を当たり前に使おうとしているのがよかった。
- もとにする大きさが同じものを入れたことが差から倍の焦点化につながった。
- ▼数直線の意味、よさを知って使う必要がある。
- ▼差を出すところまではよかったが、同じ1500円の差でもどうなのか子どもにもっと話させたい。



### 2 児童が本気になる課題の工夫

- 導入で、子ども達を引きつけたり、生活とつなげたりできていた。
- 日常場面から考えられている。
- ▼子どもの実態として、出てきた数や値の判断力に弱さが見られた。授業で使った問題より適用問題の方の数が小さいのでそれを問題として解いていけばよかったのではないか。

### 3 「数学的な見方・考え方」を働かせるための手立て

- ▼数直線を普段から使い慣れているが、1あたりのおさえができていたか。
- ▼ホワイトボードの活動はよかったが、その議論の時間がもっとほしかった。
- ▼数直線の位置、子どもの思考が止まっていた。
  - 整数倍から小数倍へ変わる抵抗があった？
  - 倍ということが増えていくというのが子どもの中にある？
- ▼前時との違いを明確にしていれば、もとの値段がちがうことがおさえられたのではないか。

### 宮崎千一より(本単元・本時の学びのポイント)

- 学習指導案の作成、本時の授業について
  - ・学習指導案を変更し、数学的活動のプロセスがわかりやすくなっている。
  - ・授業のテンポがよい。児童とやりとりしながら問題を設定し、児童と一緒に授業をつくっている。
- 資質・能力の育成、本時のねらい
  - ・今日の授業で新たにできるようになって欲しいことは何なのかということを教師がしっかりと持っておく必要がある。
  - ・本時：もとの量(基準量)がちがっても、そろえれば比べることができる
  - ・式や図における数量関係を数だけでおさえるのではなく、事象と関連づけて具体的にイメージできるようにすることが大切です。→数学的活動D1のプロセス
  - ・これまでの差で比べる方法から倍で比べる方法を獲得した後に授業を振り返り、「基準量を1に揃えれば差で比べることができる」と統合してまとめることが大切です。→既習にもどす。
  - ・未習の学習内容も、「今までの学習を活用すれば解決できないかな」と考える児童を育て、未知の状況でも対応できる資質・能力を育成する。→低学年から系統的に鍛えていく。

今回の算数科の研究授業を通して、日常生活から問題を見出す、問題を子どもと作っていくこと、既習にもどすことを意識して授業をつくっていくことなど、算数科で目指す授業について、全体共有できたことがあったように思います。また、既習にもどすために、それぞれの学年で確実な力を身に付けるとともに、どうすれば既習が使えるのかという見方を鍛えていくことも大事であると感じました。

今津先生の子どもとともに問題を作っていく仕掛け、数直線を常に活用させて鍛えるなど数学的な活動を通した授業からたくさんの学びがありました。この学びを算数科の授業づくりに活かし、研究を進めていきましょう！

今津先生、ありがとうございました。